

ソニー教育財団 2014年度 教育助成プログラム
小・中学校、幼稚園・保育所・認定こども園 教育実践論文募集開始のお知らせ
～ 求む、夢のある計画、情熱のこもった取り組み ～

ソニー教育財団(会長:中鉢良治)は、全国の小学校・中学校、幼稚園・保育所・認定こども園から「科学する心」を育む教育実践と計画をまとめた論文を募集し、より良い教育の実践に情熱をもって取り組む学校・園に教育助成を行っています。今年度も8月1日より小・中学校を対象とした「ソニー子ども科学教育プログラム」、16日より幼稚園・保育所・認定こども園を対象とした「ソニー幼児教育支援プログラム」の論文募集を開始いたします。

ソニー創業者の井深大が1959年に始めた「ソニー小学校理科教育振興資金」を受け継ぐ2つの教育助成プログラムには、これまで全国から12,000件を超える応募をいただき、上位入選校・園には50年以上も継続して、教育資金と教育教材(ソニー製品)を贈呈してまいりました。昨年度も、全国の小・中学校より193件、幼稚園・保育所・認定こども園より93件、合計286件の応募をいただきました。

次世代を担う子どもたちを育むため、熱心に取り組む学校・園のみなさまからの多数のご応募をお待ちしております。



ソニー創業者 井深大

募集概要

■ソニー子ども科学教育プログラム:「科学が好きな子どもを育てる」実践と教育計画

- 対象: 小学校・中学校
審査委員長: 御手洗康 (公財)教科書研究センター副理事長、元文部科学事務次官
募集期間: 2014年8月1日(金)～9月3日(水)
助成内容: ソニー製品と、最優秀校300万円、優秀校50万円、奨励校10万円の教育助成金
入選発表: 2014年12月中旬、当財団のホームページ上で発表
応募方法: <http://www.sony-ef.or.jp/sef/program/guide/science.html>

■ソニー幼児教育支援プログラム:「科学する心を育てる」実践と教育計画

- 対象: 幼稚園・保育所・認定こども園(主に3歳から5歳児の活動)
審査委員長: 小泉英明 (株)日立製作所 役員待遇フェロー
募集期間: 2014年8月16日(土)～9月16日(火)
助成内容: ソニー製品と、最優秀園100万円、優秀園20万円、奨励園5万円の教育助成金
入選発表: 2014年12月中旬、当財団のホームページ上で発表
応募方法: <http://www.sony-ef.or.jp/sef/program/guide/preschool.html>

＜報道関係の問い合わせ先＞

公益財団法人 ソニー教育財団 東京都品川区北品川4-2-1

TEL:03-3442-1005 FAX:03-3442-1035 (担当 山下)

公式ホームページ: <http://www.sony-ef.or.jp/>

公式フェイスブック: <https://www.facebook.com/SonyEducationFoundation>

<参考資料>

■昨年度(2013年度)の教育助成プログラムの実績

ソニー子ども科学教育プログラム 応募総数: 193校

<最優秀校 2校 教育助成金 300万円>

■諏訪市立中洲小学校(長野県)

テーマ:科学する心を育む「中洲教育」2013



■富士見町立富士見中学校(長野県)

テーマ:「科学する心」を育む富士見中の学舎づくり



ソニー幼児教育支援プログラム 応募論文:93園

<最優秀園 2園 教育助成金 100万円>

■仙台みどり学園みどりの森幼稚園(宮城県)

テーマ:日々の自然体験から紡ぎだす科学する心の芽生えとは



■出雲市立塩冶幼稚園(島根県)

テーマ:好奇心、探究心から科学する心を育てる



■昨年度(2013年度)教育助成プログラム 優秀校・園 贈呈式の様子

2014年2月1日 ソニー本社にて

優秀校・園の校長先生・園長先生、論文の研究代表の先生および保護者代表をお迎えし、会長の中鉢良治より表彰状と目録が手渡されました。当日は、ご来賓として出席いただいた文部科学省初等中等教育局長の前川喜平様より、ご祝辞をいただきました。



■ソニー教育財団の活動について

1946年東京通信工業、後のソニー創業者のひとり井深大は、その設立趣意書の中で「自由豁达にして愉快なる理想工場の建設」、「国民科学知識の実際的啓発活動」を目標に掲げました。日本の将来の発展を支える子どもたちが科学に関心を持ち、科学を好きになるには、小・中学校における理科教育が最も重要であると考え、会社名をソニーへと変更した翌年の1959年に「ソニー理科教育振興資金」の贈呈事業を始めました。この事業を継続的に発展させるため、1972年に「財団法人 ソニー教育振興財団」を設立しました。

その後、子どもたちの豊かな心を育てる教育が大切になると考え、1987年に、理科教育の枠を越えて「ソニー教育資金」と名称を変え、2000年には、子どもたちの感性・創造性・主体性の育成を目指したソニー子ども科学教育プログラムへと発展。これまでに、延べ11,000校を超える応募があり、子どもたちの教育に創造的、先駆的な取り組みを行っている全国の学校や先生方を支援してきました。

一方で、井深大は「人間の能力は“環境”によって作られる」との考えから、幼児教育の大切さを訴え、1969年に「財団法人 幼児開発協会」を設立。2001年には、2つの財団を統合して「財団法人 ソニー教育財団」となり、幼児期の豊かな感性と創造性の育成を願い、幼児教育支援プログラムを開始しました。2011年に公益財団法人に移行し、現在に至ります。

■ソニー教育財団のあゆみ

- 1959 「ソニー小学校理科教育振興資金」開始
- 1963 「ソニー理科教育振興資金受賞校連盟」結成
- 1969 「財団法人 幼児開発協会」設立
- 2001 「ソニー子ども科学教育プログラム」開始
「ソニー教育振興財団」と「幼児開発協会」を統合し、「財団法人 ソニー教育財団」となる
- 2002 「ソニー理科教育振興資金受賞校連盟」を改組し、「ソニー科学教育研究会(SSTA)」発足
「ソニー幼児教育支援プログラム」開始
- 2011 「公益財団法人 ソニー教育財団」に移行

以上